

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	COVID-19感染症流行下にて介護老人保健施設の看護師が直面する 高齢者看護の問題に関する実態調査				
研究組織	代表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	飯塚 真樹
	研究分担者	所属・職名	看護学部・教授	氏名	山下 早苗
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	飯塚 真樹

講演題目	COVID-19 感染症流行下における高齢者施設での感染予防対策による高齢療養者への影響 —国内外の文献検討—
------	--

**研究の目的、成果及び今後の展望**

【目的】  
 新型コロナウイルス(以下 COVID-19)感染症流行収束の見通しは立たない。高齢者は COVID-19 感染症罹患、重症化のリスクが高い事から高齢者施設では現在も面会制限、活動制限の対策を講じ、その結果高齢療養者の身体、認知機能低下などの影響が出ている。本研究の目的は、高齢者施設における感染症予防対策の課題を明確にし、高齢療養者の生活の質を維持しながら効果的な感染症予防対策実施について示唆を得ることである。本研究において「介護老人保健施設の看護師が直面する高齢者看護の問題に関する実態調査」を行うにあたり、「COVID-19 感染症流行下における高齢者施設での感染予防対策による高齢療養者への影響」について国内外の文献検討を行ったので、報告する。

【方法】  
 文献検討を行った。国内文献は医中誌、CiNii とハンドサーチを用い、「高齢者」「COVID-19 感染症」をキーワードに症例報告、総説の 11 文献を抽出した。海外文献は PubMed を用い「COVID-19」「Elderly」「Nursing Home」「Long Term Care Facility」をキーワードとし、高齢者施設での感染拡大、対策に言及している 10 文献を対象とした。

【結果・今後の展望】  
 国内文献は高齢者施設での感染症拡大ケース報告、感染防止対策を講じながら診療を続けたケース報告、施設での感染症予防対策による高齢療養者の心身機能低下という影響が示されていた。国外文献は 2020 年 COVID-19 感染症拡大期間の実態調査が多かった。認知症高齢者ケア施設では、感染拡大防止による面会やサービス利用制限により精神機能低下や家族の精神負担増加が見られた。緩和ケア病院での認知症高齢者ケアの文献は、感染症拡大を機にアドバンスケアプランニングの重要性は指摘されているが、倫理的ケア・スピリチュアルケアは認識が低いと示されている。認知症高齢者ケア施設では高齢者の手洗いが不十分なことが感染拡大の原因となることや、米国の高齢者施設職員は 2 つ以上の施設で勤務する職員が感染症の媒介となったことが示された。また、個室入居型施設や看護師の割合が多い施設では感染拡大しにくい傾向が示された。

COVID-19 感染症流行開始から 2 年が経過し、国内外の研究で感染拡大の原因、エビデンスが高い予防策が示されている。医療保健福祉専門職は、過度の感染症対策により高齢者の生活機能・認知機能維持や、社会的交流が妨げられぬよう考慮し、高齢者施設で適切な感染症予防対策を検討していく必要がある。